



## よろしくお願ひいたします (保護者版)

15Rの保護者の皆さま、お子様の日比谷高校ご入学、おめでとうございます。15Rの担任を務めます保戸塚(ほとづか)でございます。一年間、よろしくお願ひいたします。

教科は国語で、週に3時間、15Rの古典の授業を担当いたします。また、学年内の仕事では、進路指導を担当いたします。具体的には、月に一度「進路通信」を発行したり、模擬試験の手配をしたり、夏期・冬期の講習の準備をしたり、日比谷の卒業生や進路指導のプロを呼んでの講演会を計画したりすることが仕事の中心となりますが、それらを通じて、生徒諸君の進路意識を高めることができると考えております。

日比谷に異動して早9年目になりました。この間、一度卒業生を出していますので、その時の経験も生かしながら、学年・学級の経営に携わっていかないと考えています。

さて、お子様もいよいよ高校生。自立(「論語」での「而立」は三十歳。十五歳は「志学」です…)の時期を迎えることとなります。

今までは何でもよく話をしていたのに、だんだん学校のことを話さなくなってきた…といったことがあるかも知れません。また、今までは勉強の相談に乗ってきた(一緒に勉強をしていた!)、進路についても一緒に考えてきた、という方もいらっしゃると思いますが、勉強の方もグッと難しくなりますし、進路選択もいよいよ本人が将来を見据えながら、しっかりと結論を出していかなければならなくなります。その意味では、親離れが進

んでちょっと寂しい気持ちを味わわれることもあるかも知れませんが、それも成長の過程ということなのでしょう。

一方で、

- ①朝、朝食を食べさせて学校に送り出す(欠席の場合は、8:00~8:15に保護者が学校に電話連絡を。03-3581-0808)
  - ②身だしなみを整えさせる
  - ③お弁当を持たせる(購買もありますが…)
  - ④生活習慣の悪い所ははっきりと叱る
  - ⑤携帯・お小遣いなどのルール、家族のルールを相談し、きちんと守らせる
  - ⑥自分の持ち物はしっかりと管理させる
- といったところは、ぜひともご協力をお願いしたいところです。

勉強については、ただでさえプレッシャーを感じているでしょうし、私ども各教科の担当が「やれ、やれ!」とせっつきます(笑)ので、気になるとは思いますが、ご家庭ではむしろその話題は避けていただいた方がよいかも知れません。

初めて長距離の通学になる生徒も多く、最初は疲労困憊といった状態で帰宅することになると思います。しかし、日々の生活や行事・部活などを通じて、それぞれに素晴らしい友人・先輩を見つけながら、着実に「日比谷生」になっていくことになると思います。保護者の皆さま方もご不安な点が多々あるかとは思いますが、どうぞ暖かく見守っていただきたく思います。この通信が、そんな不安を解消する一助になればと思っています。